

草津市糖尿病対策ガイドライン(第4期) 評価シート

No.	数値目標項目	単位	担当課	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	現状値	算出現状値 の年度(時点)	目標達成度 (%)	目標達成の状況と課題	今後の取組の方向性	出典
①	健診受診率・特定保健指導実施率の向上	①特定健診受診率	%	保険年金課	38.5	44.2%	36.4	令和3年度	82.2	健康くさつ21(第2次) 評価シートと同内容	特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表(県国保連合会)
②		②特定保健指導実施率	%		33.1	19.7%	16.7 (96/576人)	令和3年度	84.8		
③		③プレ特定健診受診率	%	健康増進課	0.8	12.6%	0.6% (214/34,075人)	令和4年度	4.8	集団けん診等、プレ特定健診を受けることで39歳以下の若者世代が、自らの生活習慣を見直すきっかけづくりを行うことができた。 【課題】けん診を受ける機会がない方に対し、受診を促すことや、市民への実施状況の周知を継続して行う必要がある。	引き続き、プレ特定健康診査の認知度を向上させ、受診率向上につながるよう啓発を継続していく。
④	糖尿病有病者の増加抑制	%	健康増進課 保険年金課	11.3	増加抑制	11.9 (760/6,400人)	令和4年度	92.4	健康くさつ21(第2次) 評価シートと同内容	「特定健康診査」の健診結果	
⑤	糖尿病治療継続者の増加	%	健康増進課 保険年金課	59.3	61%	56.9 (349/613人)	令和4年度	93.3			
⑥	糖尿病関連疾患による医療費の減少	円/%	保険年金課	①393,386円 ②20,591円 ③1,966,930円 (0.8%) ④19,220,460円 (6.7%)	減少	①402,693 ②17,130 ③3,200,960 (1.4%) ④14,328,380 (5.2%)	令和4年度	①増加 ②減少 ③増加 (増加) ④減少 (減少)	滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、対象者へ保健指導と医療機関受診の勧奨通知、保健指導の案内をした。保健指導を希望しない対象者には、訪問、電話、リーフレットの郵送により、対象者の実態把握や情報提供を実施した。 【課題】通知内容も対象者がわかりやすいような内容へ検討していく必要があり、また指導内容等を検討し、実施人数の増加をめざす必要がある。	引き続き、対象者への訪問や電話、リーフレットの送付での支援を行っていく。かかりつけ医や市内の医療機関と連携を取ることで、医療機関の受診率の向上や対象者が生活習慣を見直すことで、糖尿病の重症化予防を目指していく。	KDBシステム
⑦	国保被保険者の透析の特定疾病認定者数(腹膜透析者を除く)の減少	人	保険年金課	102	85人より減少	91	令和4年度	93.4			